MITSUBISHI

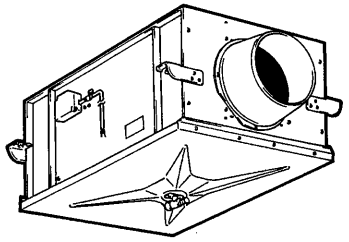
9612R870HG5002

三菱(耐湿形)ストレートシロッコファン

形名

BFS-40SD,50SD
BFS-80SD,100SD
BFS-150SD

取付・取扱説明書



もくじ

ページ

安全のために必ず守ること ……1～2
外形寸法図 ……3
取付方法 ……3～5
試運転 ……6
保守点検 ……6
お手入れのしかた ……6
アフターサービス ……7
仕様 ……7

取付工事を始める前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全に取付けてください。
取付工事は販売店さま、または専門の工事店さまが実施してください。

取付工事終了後は、必ずこの説明書をお客さまにお渡しください。

ご使用の前に必ずこの説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
なお、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに添付別紙のお問い合わせ窓口一覧表とともに保管してください。

安全のために必ず守ること

●誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を⚠警告・⚠注意の表示で区分して説明しています。

⚠警告	誤った取扱いをしたときに死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの
⚠注意	誤った取扱いをしたときに傷害または建物・機械などの損害に結びつくもの

●図記号の意味は、次のとおりになっています。

⃠	禁　止		水場での使用禁止	❗	指示に従い必ず行う
	分解禁止		接触禁止	⏚	アース線接続

⚠警告

- ●爆発性の粉じんやガスの発生する場所または発生する恐れのある場所には取付けないでください。
  （爆発や火災の原因になります）
- ●交流100V以外では使用しないでください。
  （火災・感電の原因となります）

- ●どんな場合でも改造はしないでください。分解・修理は修理技術者以外の人は行わないでください。
  （火災・感電・けがの原因となります）
  修理はお買上げの販売店または当社のお問い合わせ窓口にご相談ください。

- ●製品を水につけたり、水をかけたりしないでください。
  （ショートや感電の恐れがあります）

- ●運転中は危険ですから、羽根の中に指や物を入れないでください。
  （けがの恐れがあります）
- ●電源が入ったままで運転が停止しているときは、製品には絶対にふれないでください。
  （突然運転し始めてけがをする恐れがあります。また、感電の恐れがあります）

- ●煙突で排気する燃焼器具を設置した部屋の排気に使用する場合は、排気ガスが室内に逆流しないよう、十分な大きさの吸気口を設置してください。
  （一酸化炭素中毒を起こすことがあります）
- ●メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に製品および製品に接続された金属製ダクトが貫通する場合、製品および金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けてください。
  （漏電した場合発火することがあります）
- ●お手入れや保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
  （感電やけがをすることがあります）

- ●アースを確実に取付けてください。
  （故障や漏電のときに感電することがあります）

⚠注意

- ●直接炎があたる恐れのある場所には取付けないでください。
  （火災の恐れがあります）
- ●本体に異常な振動が発生した場合、使用しないでください。
  （本体・部品の落下によりけがをする恐れがあります）
- ●屋外など雨のあたる場所や浴室など湿気の多い場所（湿度90%以上）には取付けないでください。
  （感電や火災の原因となります）
- ●本体の取付工事は十分強度のあるところを選んで確実に行ってください。
  （落下によりけがをする恐れがあります）
- ●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。
  （接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります）
- ●開梱・取付け・保守点検およびお手入れの際は手袋を着用してください。
  （端面などでけがをする恐れがあります）
- ●長期間ご使用にならないときは、必ず分電盤のブレーカーを切ってください。
  （絶縁劣化による感電や漏電・火災の原因になります）
- ●油煙の発生するところに取付ける場合は必ず市販のグリスフィルターを取付けてください。
  （火災の原因になります）

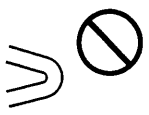
規　制

- ●共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により、2mの鋼板立上がりダクトを取付けてください。
  （各地区での使用の可否を確認してください）

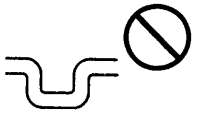
お 願 い

- ●取付場所が悪いと故障の原因になります。次のような場所には取付けないでください。
  ・40℃以上になる場所　・−10℃以下になる場所　・氷結する恐れのある場所
  ・腐食性ガスの発生する場所や化学薬品を扱う場所　・ほこりや油煙の多い場所
- ●温泉・温水プールなど腐食性ガスが常時、湿潤している場所の排気を行う場合は製品寿命が短かくなります。
- ●排気ダクトは雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけ、先端にウェザーカバー（市販品）などを取付けることをおすすめします。
- ●つぎのようなダクト工事はしないでください。（風量低下や異常音発生の原因になります）

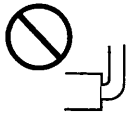
●極端な曲げ



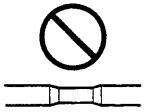
●多数の曲げ
（曲げ数が多くなれば風量低下します）



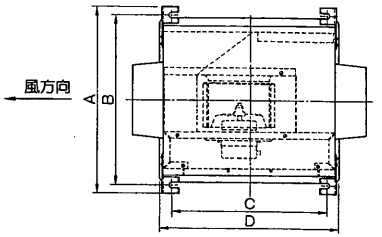
●吐出口のすぐそばでの曲げ

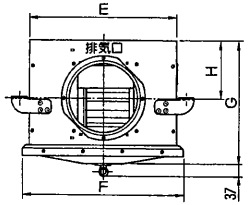


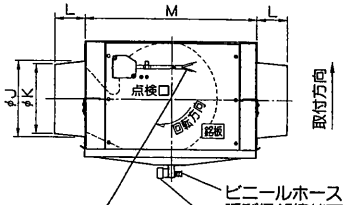
●しぼり
（接続ダクト径を極端に小さくする）



外形寸法図







単位（mm）

形　名	A	B	C	D	E	F	G	H	J	K	L	M
BFS-40SD	409	369	355	420	314	354	290	140	160	142	70	400
BFS-50SD	505	465	435	500	410	450	340	160	208	192	85	480
BFS-80SD	505	465	435	500	410	450	340	160	208	192	85	480
BFS-100SD	540	500	555	620	445	485	420	200	208	192	85	600
BFS-150SD	540	500	555	620	445	485	420	200	258	242	85	600

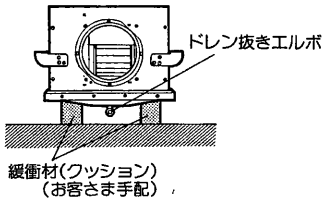
取付方法

はじめに

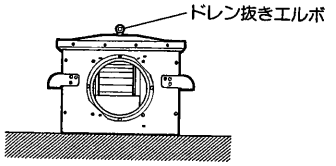
⚠注意　●開梱の際は手袋を着用してください。
（端面などでけがをする恐れがあります）

本体を包装箱より取出して、置く場合、ドレン抜きエルボに製品質量がかからないようにしてください。下図のような方法で行ってください。

緩衝材を利用してドレン抜きエルボに製品質量がかからないようにする。



製品を反対にして、床などの上に置く。

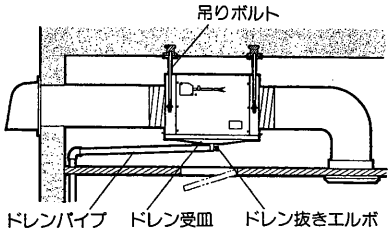


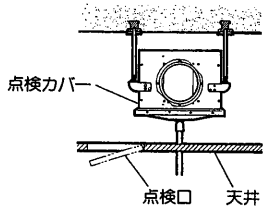
お願い

- ●取付け、運搬作業の際、羽根を変形させないよう十分注意してください。
  羽根が変形しますとバランスがくるい、振動・異常音発生などの原因となります。
- ●吸込側には羽根にほこり・油かすが付着しないように、フィルターのご使用をおすすめします。
  （フィルターの選定には種類・メーカーにより圧力損失が異なり風量低下をまねく恐れがありますので十分注意してください）
- ●天井取付けの場合は、保守・点検ができるよう45cm角以上の点検口を必ず設けてください。

取付方法 つづき

取付例

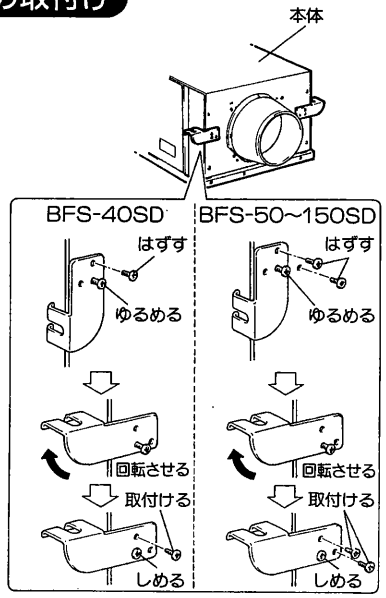




※排気ダクト、ドレンパイプには下りこう配をつけてください。

本体の取付け

1



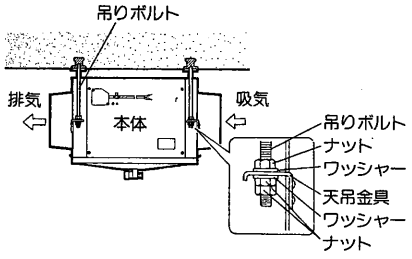
1．外形寸法図を参照し強固な取付場所に市販の吊りボルトを埋め込みます。(取付例参照)
2．天吊金具を本体に固定します。
(天吊金具は工場出荷時本体にたたんだ状態で固定されています)

⑴左図のように「はずす」指示のあるネジをはずし、「ゆるめる」指示のあるネジをゆるめます。(機種により異なります)

⑵ゆるめたネジを中心に、天吊金具を90°回転させ水平にします。

⑶はずしたネジおよびゆるめたネジを確実に締め、天吊金具を本体に固定します。

2



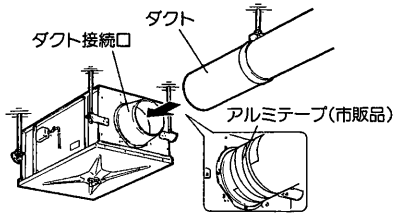
本体が水平になるように本体を吊りボルトに取付けます。

M8～M10の吊りボルト・ワッシャー・ナットを使用し締め付けます。

●本体表面に結露の恐れがある場合は断熱処理を行ってください。

取付方法 つづき

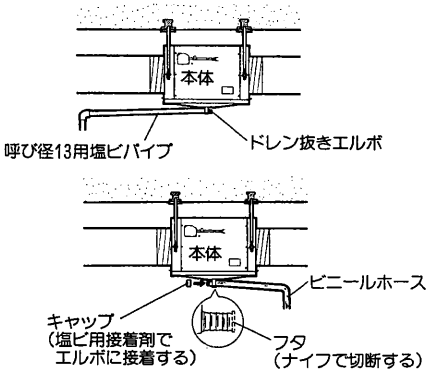
ダクト工事



ダクト工事を行います。

●吸気側・排気側ともダクト接続口にダクトをしっかり差し込み、リベットで固定し、風漏れのないよう市販のアルミテープでテーピングしてください。
●ダクトは本体に力が加わらないよう天井より吊るしてください。
●結露の恐れのある場合は断熱処理を行ってください。

ドレン抜き工事



ドレン抜き工事を行います。

●浴室など湿度の高い場所の換気を行う場合には、必ずドレン抜き工事を行ってください。

硬質塩ビパイプで施工する場合

⑴本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップをはずしてください。
⑵ドレン抜きエルボの差し込み径は呼び径13ですので、呼び径13用塩ビパイプで接続してください。

ビニールホースで施工する場合

⑴本体下面にあるドレン抜きエルボのキャップを塩ビ用接着剤でエルボに塗布し接着してください。
⑵先端のフタをナイフで切断したあと、ビニールホースを奥まで差し込み、ホースバンドで確実に固定してください。

お願い

●ドレン抜きエルボから水もれがないように、シール剤を塗布してください。
●パイプの端は、必ず排水可能なところまで導きドレン処理を確実に行ってください。
●パイプの途中に、水がたまらないように下りこう配をつけ、またへこみを作らないでください。
●ドレン配管に結露や凍結の恐れがある場合は、必ず断熱処理等を実施してください。

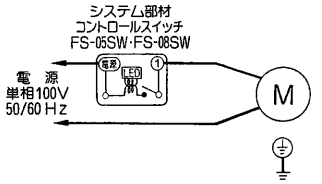
電気工事

⚠警告	⃠	●交流100V以外では使用しないでください。(火災や感電の原因になります)	⏚	●アースを確実に行ってください。(故障や漏電のとき感電することがあります)
⚠注意	❗	●配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って安全・確実に行ってください。(接続不良や誤った配線工事は感電や火災の恐れがあります)		

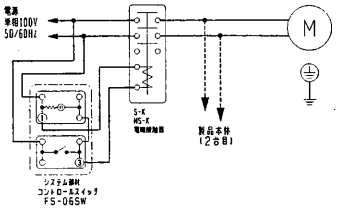
スイッチを取付ける場合は下図のように配線してください。

第3種接地工事を実施してください。

■結線例



BFS-150SDの場合



試運転

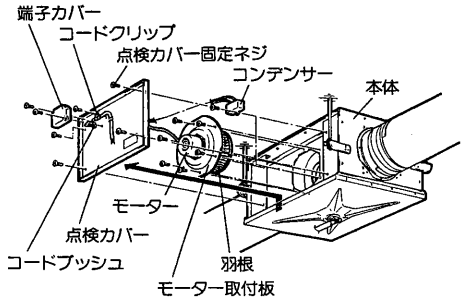
取付け、ダクト工事、電気工事、ドレン配管終了後、必ず試運転を行い正常に運転できることを確認してください。

1．電源を入れて正常に風が出ているか確かめてください。
2．振動・異常音がないか、風漏れがないかを確かめてください。

保守点検

〈工事店さま〉

⚠警告	❗	●保守点検の際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 （感電やけがをすることがあります）
⚠注意	❗	●保守点検の際は手袋を着用してください。 （端面などでけがをする恐れがあります）



万一、モーターや羽根に異常があった場合は次の手順で点検してください。

1．必ず電源を切ってください。
2．端子カバーのネジをはずして、取りはずします。
3．コードクリップを取りはずします。
4．電源コードをコードブッシュの中へ可能な限り入れます。
5．点検カバー固定ネジをはずして、点検カバーをはずします。
6．コンデンサーのネジをはずして取りはずします。
7．モーター取付板のネジをはずして、羽根・モーターを引き出します。

お願い

●電源コードを無理に引っぱらないでください。
●モーターは重いため、モーター・羽根に傷を付けないよう、またけがのないよう取扱いには十分注意してください。

お手入れのしかた

〈お客さま〉

⚠警告	❗	●お手入れの際は必ず分電盤のブレーカーを切ってください。 （感電やけがをすることがあります）
⚠注意	❗	●お手入れの際は手袋を着用してください。 （端面などでけがをする恐れがあります）

■フィルター（吸込側）をご使用の場合は清掃を行ってください。
吸込側に取付けられた市販品のフィルターは種類・仕様により清掃方法も異なりますので注意してください。
●フィルターの目づまりは風量の極端な減少の原因になります。
■モーターの軸受けには、負荷側は両シール、反負荷側には両シールドの玉軸受が使用してありますので、注油の必要はありませんが、グリースの寿命は、約1万時間ですので使用状況（異常音・風量減少など）によっては、点検のうえベアリングの交換が必要です。
ベアリングの交換は専門の工事店に依頼してください。

アフターサービス

アフターサービスは、お買上げの販売店へお申し付けください。
なお、おわかりにならないときは、当社のお問い合わせ窓口（取付・取扱説明書同封の一覧表でお近くの支社、支店または各地区のサービスセンター）へご相談ください。

補修用性能部品の最低保有期間

当社はこの三菱耐湿形ストレートシロッコファンの補修用性能部品を製造打切後最低7年間まで保有しています。

仕　様

形　名	電　源	公称出力（W）	極数（P）	羽根径（cm）	接続ダクト寸法（mm）	質量（kg）	最大負荷電流（A）	起動電流（A）
BFS-40SD	単相100V 50/60Hz	20	4	18	φ150	11	0.61/0.76	0.97/0.99
BFS-50SD		45	4	20	φ200	16	1.06/1.42	2.47/2.3
BFS-80SD		100	4	20	φ200	17	1.49/1.89	2.85/2.85
BFS-100SD		200	4	23	φ200	23.5	3.05/4.17	10.4/9.86
BFS-150SD		400	4	25	φ250	34.5	4.36/6.72	23.5/21.8

三菱電機株式会社
中津川製作所 〒508 岐阜県中津川市駒場町1番3号 電話0573-66-2111